

5月の給食だより

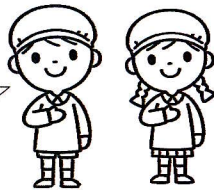
平成26年度
栲原共同調理場



桜が散り、山々の緑が濃くなって来ました。「葉や椎の花が良く咲く年は作物が…」や「〇〇の日に雨が降ると…」など昔からこの時期の自然の様子で一年間の作物の出来を予想していました。6年生の神在居の田植えや、4年生のパケツ稲を始め、栲原学園でも各学級で作付けが行われます。たくさんの実りがあることを願っています。作付けと収穫だけではなく、草取りや虫の除去など、育てるときの苦労も知ることができるといいですね。

ぼくたちは双子の食育兄妹だよ。
一年間、栲原学園のみんなと食育の勉強をするよ。よろしくね。

しよく くん いく ちゃん

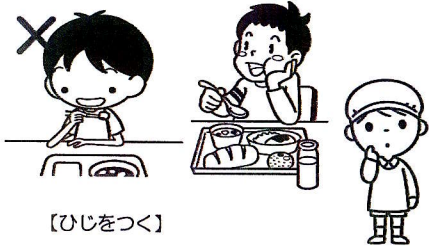


しよく いく きょうだい

給食は、食べるだけじゃなくて
勉強の一つなんだよ。今月は、
マナーの勉強をがんばろうね。

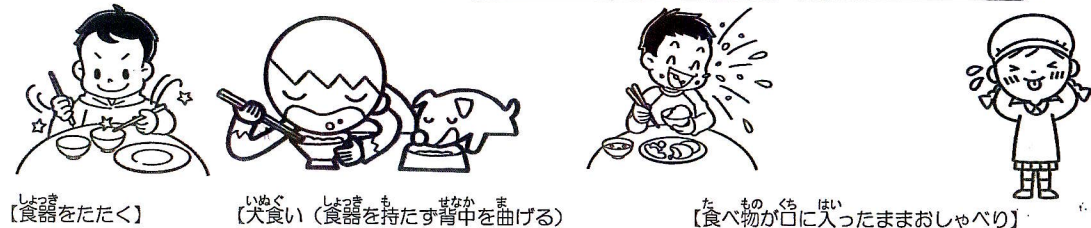
9年生、6年生は修学旅行があります。外に出てもはすかしくないように、正しいマナーを身につけましょう。

今月の給食目標 「マナーについて知ろう」



あらら、あっちもこっちもひじをついてるよ。栲原学園のみんなはどうかな？
きっと自分でも気づいてないだね。周りにさっと教えてあげてね。

知らず知らずのうちにやっていそう…気をつけないと恥ずかしい！



【食器をたたく】

【大食い（食器を持たず背中を曲げる）】

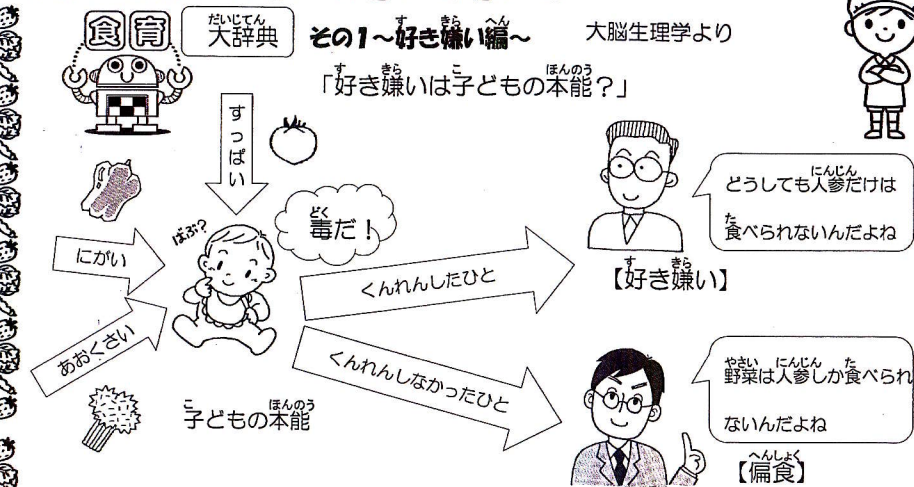
【食べ物が口に入ったままおしゃべり】



【好きな物だけたくさん食べる】
【嫌いな物が出たら不快な言動を取る】

【食事中に立てる】【途中でトイレに行く】
【きちんとイスに座らない、足をぶらぶら、足を組む】
【後ろを向いたり、キョロキョロよそ見する】
【いつまでも食べている】

自分が苦手な食べ物も
他の人は大好きかもしれないよ
違った見方をしてみよう



子どもの好き嫌いの原因となる味は、もともと命を守るために毒の成分を見分けられるよう備った本能です。最初からこの味を好む子どもの方が少ないでしょう。離乳食→幼児食の過程で少しずつ、訓練を重ね、その味のおいしさを学習していきます。味覚の完成は遅くとも小学校の低学年までで、それ以降にそのものの味をおいしく感じることは難しくなります。逆に、作ってくれた人、生産者への感謝の心や栄養について学び、集団生活のルールのもとに、苦手な物も繰り返し訓練することで、苦手な物を克服したり、前向きにとらえようとする、違った側面から物事を見ようとするなどすることができるようになります。これは物を大切にしたり、自分や家族、周りの人を大切にできる道徳にもつながります。

3年生のY君が苦手だった魚を食べながら、「魚は克服したぞ！優勝！おはあちゃんちで特訓したよ」と教えてくれました。苦手な食べ物のおいしさを教えてくれる家族の力は欠かせません。